

# 事務局





# I 現況

## 1 公益財団法人日産厚生会のあゆみ

当会は、1948年に結核の予防・診療・研究を目的とする公益法人として設立された。淵源は1940年、日産コンツェルンの総帥鮎川義氏により、傘下各社の従業員および家族の共同福利厚生施設の一環として開設された健康相談所と結核療養所である。

その後、時代の変遷に対応して生活習慣病、リハビリテーション等の予防・診療・研究ならびに介護保険法にもとづく居宅介護支援事業等も事業目的に加え、事業領

域を広げ、現在は東京都と千葉県において2病院・2診療所・1介護老人保健施設・2訪問看護ステーション・1居宅介護支援事業所の運営を行っている。

2008年の公益法人制度の抜本改革に際し、当会は「国民の健康保持と疾病の予防・治癒に寄与するための医学的研究事業」を公益目的事業に掲げ、2013年12月に内閣総理大臣から「公益財団法人日産厚生会」として公益認定を取得した。

### 沿革

- 1940年 9月 (株)日産が日産健康相談所(現日産厚生会診療所)を千代田区内幸町に開設
- 1942年 9月 結核療養所として佐倉日産厚生園(現佐倉厚生園病院)を千葉県佐倉町に開設
- 1948年 5月 財団法人日産厚生会を設立。日産健康相談所および佐倉厚生園を継承
- 1953年 3月 玉川病院を世田谷区瀬田に開設
- 1969年11月 玉川クリニックを世田谷区玉川に開設
- 1990年12月 介護老人保健施設「佐倉ホワイエ」を佐倉厚生園の隣接地に開設
- 1997年 4月 玉川病院に訪問看護ステーションを開設
- 1998年 4月 佐倉厚生園に訪問看護ステーションを開設
- 2000年 4月 玉川病院および佐倉厚生園に居宅介護支援事業所(「介護相談センターたまがわ」および「厚生園ケアマネジメントセンター」)を開設
- 2007年 9月 玉川病院が結核病棟を廃止
- 2009年 3月 佐倉厚生園が結核病棟を廃止
- 2013年12月 内閣総理大臣より公益財団法人としての認定を受ける
- 2014年 1月 日産厚生会診療所を現在地に移転
- 2014年 4月 玉川病院内に医学研究所を開設  
佐倉厚生園を佐倉厚生園病院に改名
- 2021年 3月 玉川病院の居宅介護支援事業所「介護相談センターたまがわ」を廃止

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

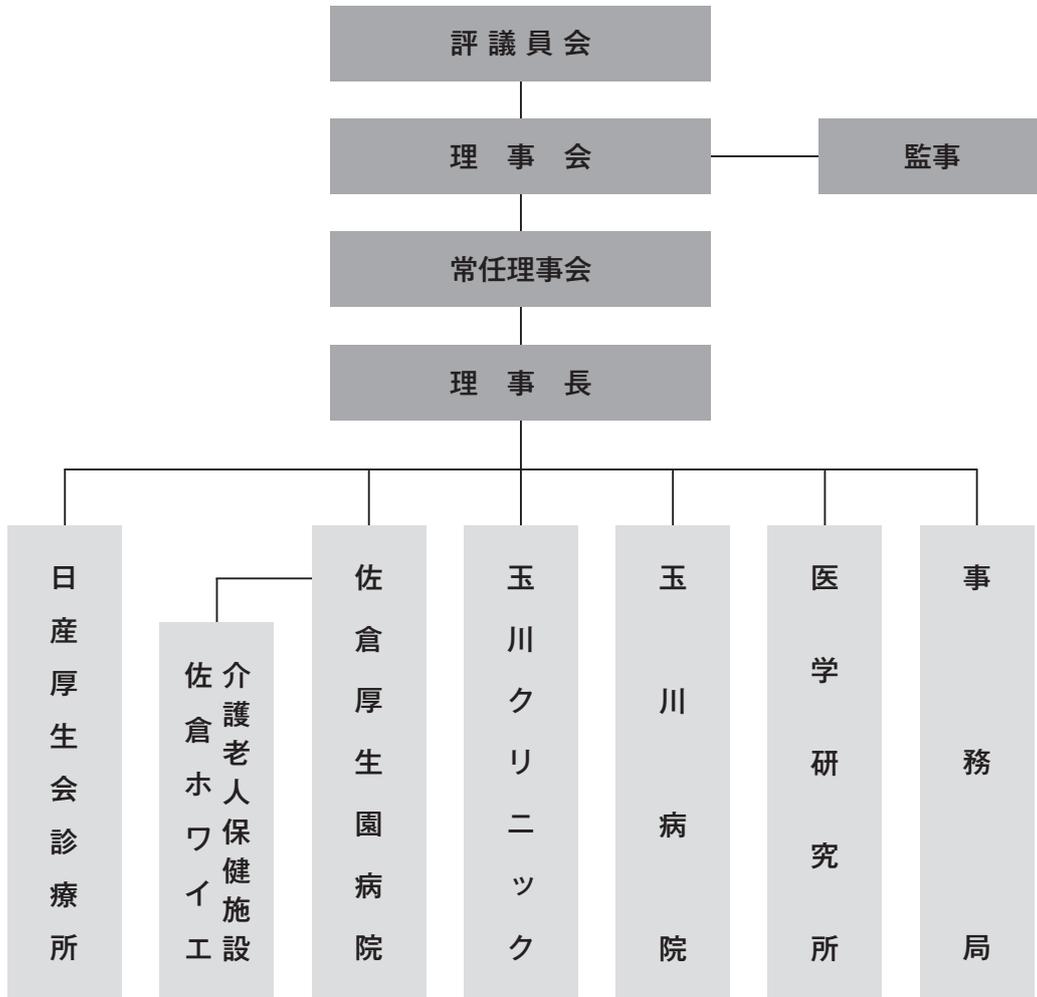
佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

2

公益財団法人日産厚生会 組織図



### 3 評議員および理事・監事名簿

#### 評議員(全員非常勤)

(五十音順)2023年3月31日現在

氏名	職業等
内田 幸雄	ENEOSホールディングス株式会社 特別理事
片岡 寛	一橋大学 名誉教授
栗原 裕基	東京大学大学院医学系研究科 教授
高橋 忠生	日産自動車株式会社 元副会長
松村 太郎	まつむら総合法律事務所 弁護士
村上 保夫	公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 顧問
山口 武兼	地方独立行政法人東京都立病院機構 理事長特別補佐
吉田 友英	東邦大学医療センター佐倉病院 病院長

#### 理事および監事

2023年3月31日現在

役職	氏名	常勤・非常勤	分担業務(職業等)
理事長(兼)会長	中嶋 昭	常勤	玉川病院 名誉院長
副理事長	宮崎 純一	非常勤	日産化学株式会社 特別顧問
同	和田 義明	常勤	玉川病院 院長
常任理事	栗原 正利	常勤	医学研究所 所長(兼)玉川病院 気胸研究センター長
同	川村 徹	常勤	診療所 所長
同	長 晃平	常勤	玉川クリニック 所長
同	長尾 建樹	常勤	佐倉厚生園病院 院長
理事	鮎川 純太	非常勤	テクノベンチャー株式会社 代表取締役
同	松原 正明	常勤	玉川病院 副院長(兼)玉川病院 股関節センター長
同	的 埜 明世	非常勤	株式会社ニッスイ Executive Advisor
監事	宮坂 敏尊	非常勤	公益財団法人エイズ予防財団 元理事
同	荒井 啓隆	非常勤	損害保険ジャパン株式会社 顧問

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

## Ⅱ 事業活動

### 1 2022年度事業活動概況

2020年1月に初の国内感染者を確認した新型コロナウイルス感染症は、以降感染拡大・縮小を続けながら、3年目を迎えた2022年2月に全国で過去最多となる月間約200万人の新規感染者を記録した。その後数ヶ月間は前月を下回る状況が続いたため、収束を迎えるかに思われたが、同年7月、それまでに類を見ない爆発的な感染拡大が発生し、遂に8月には過去最多を更新する月間600万人弱が全国で新規感染する事態となった。

その後も減少・増加の波があったものの、発生4年目となる2023年3月には全国の月間新規感染者数が50万人以下となるまでに落ち着いている。

当法人の事業においても上述の新型コロナウイルス感染状況が大きく影響したが、その中で臨床的調査研究により医療の質の向上を図り、病院・診療所等の運営を通して疾病治療、診療、健診、救急医療等の医療を提供し、住民の健康増進に寄与し公衆衛生の向上等に資するといった事業方針は堅持しつつ、各施設において医学的研究事業の実践とその成果の普及に取り組んできた。その活動の概況は、次のとおりである。

#### 1. 主要な活動状況

##### (1) 臨床研究等

玉川病院は研究センター(気胸、透析、股関節、ヘルニア、リハビリテーションの各センター)および各診療科を主体として研究・調査を推進した。佐倉厚生園病院やその他の施設においても、それぞれの施設特性に応じた研究活動を実践した。

医学研究所は、研究者の医学倫理の普及を図りつつ、各施設や各部門における研究活動を促進・支援したが、その中には海外の大学と共同研究を進めるまでに深化させる部門も出現した。

毎年度研究発表の場として実施している医学フォーラムについては、新型コロナウイルスの感染拡大リスクに留意しつつ、2023年2月、品川において4年ぶりに実開催した。

##### (2) 健康普及啓発活動

玉川病院や佐倉厚生園病院にて、従来、継続開催してきた患者向けの院内各種啓発活動(腎臓病教室、呼吸リハビリテーション教室等)並びに、病院祭や看護の日といった一般市民向け院内公開行事等は、オンライン開催に切り替えた玉川病院の腎臓病教室など一部を除き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し再開を見送った。

なお、玉川クリニックや診療所では、産業医としての講演活動等において、新型コロナウイルス感染症および関連する疾病の対策等を中心に、健康普及啓発活動を展開した。

##### (3) 社会福祉等への貢献

玉川病院では、都・区・保健所等からの要請を受け医師、看護師、PT・OT・ST等の講師派遣や高次脳機能障害支援普及事業である「専門的リハビリテーションの充実事業」を行っていたが、今年度は該当する講演会・講習会・研修会の一部をWebで実施する等、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準に向け徐々に回復している状況である。

佐倉厚生園病院は、隣接の社会福祉施設の協力病院として高齢者医療を支援するとともに、自治体が行う介護保険事業について連携・協力した。

##### (4) 医療活動

上述のとおり新型コロナウイルス感染症が猛威を振った影響により、各施設では患者はもとより、職員にも多数感染者が発生し、法人全体として入院・外来・手術・健診等の一部医療活動をたびたび中断せざるを得ない状況となった。

なお、玉川病院は新型コロナウイルス感染症重点医療機関かつ協力医療機関の指定を受け、以降陽性者(軽症・中等症患者)および疑似症者を受入れる等、都の感染症対策に積極的に協力した。

新型コロナウイルスによる入院患者数、延べ入院日数は次のとおり。

## 玉川病院 新型コロナウイルス入院・延べ入院患者日数

年	2022年										2023年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
新型コロナ入院者数(人)	48	28	24	56	69	42	29	35	53	45	4	13	446	
前年との差異	22	▲4	▲9	5	5	4	28	32	44	4	▲45	▲42	44	
延べ入院患者日数(日)	472	346	236	482	758	418	265	458	622	580	196	89	4,922	
前年との差異	158	14	▲62	75	269	63	242	440	547	279	▲253	▲432	1,340	

## (5) 各種教育・人材育成の推進

## ① 臨床研修医および特定行為研修看護師の受け入れ

玉川病院：基幹型臨床研修病院及び協力型臨床研修病院として8名の初期研修医指導を行った。また地域医療研修として医師4名、大学から医学実習生2名を受け入れた。さらに特定行為に係る看護師の指定研修機関として、2名の特定看護師育成を行った。

佐倉厚生園病院：臨床研修協力施設として東邦大学医療センター佐倉病院の研修医2名、聖隷佐倉市民病院の研修医2名に対して地域医療研修を行った。

玉川クリニックおよび診療所：地域医療研修として4名の研修医を受け入れた。

## ② 医療系従事者養成機関の学生への実習指導

玉川病院(訪問看護ステーションを含む)および佐倉厚生園病院(佐倉ホワイエ、訪問看護ステーションを含む)において、多数の医療・介護関連の大学・専門学校等の学生に対し実習の場を提供し指導を行った。

分野別の実習受け入れ状況は次のとおり。

単位：人

	看護	介護	リハビリ	医療事務	その他
玉川地区	173	0	12	3	15
佐倉地区	89	15	10	5	4

## 2 2022年度決算

2022年度は、新型コロナウイルス感染症が猛烈に拡大したものの、入院、外来等の患者数は前年比で増加した。一方で受取補助金はほぼ前年並みとなったため経常収益は、前年に比し800百万円の増収の151億円となった。経常費用を差し引いた経常増減額は前年比205百万円増の587百万円となり、経常外増減額を含めた税引前一般正

## 2. 主な設備投資およびその他の状況

## (1) 玉川病院

- 眼科手術用顕微鏡および白内障用手術装置の入れ替えにより安全性の向上を図った。

## (2) 玉川クリニック

- 自動精算機を導入し、会計業務の効率化と受診者の利便性向上を図った。

## (3) 佐倉厚生園病院

- 電子カルテシステムを導入し、診療事務および患者対応の効率化を図った。

## (4) 佐倉ホワイエ

- LAN配線工事を実施し、医療設備の充実を図った。

## (5) 診療所

- 企業が健康経営を推進し、健康保険組合が被保険者への健康管理を重視した施策を強化している中、多様化するサービス要請に対応し健診・人間ドックの質の向上を図り、従来以上に産業医の役割を重視した地域活動を実践した。

## 3. 今後の課題

当会の事業全体での公益認定取得に向け、全ての施設において、更なる臨床医学研究の充実に努め、実績を積み上げていくことが重要となる。

味財産増減額は507百万円の黒字となった。

なお、収益事業会計から公益目的事業会計への振替および法人税・住民税等の税金負担を差し引き、当期指定正味財産増減額を加味した最終的な正味財産増減額は、474百万円の黒字となった。

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所

<正味財産増減計算書>

(単位：百万円)

	2022年度決算		
	公益目的事業会計	収益事業等会計他	合計
経常収益	11,387	3,739	15,126
経常費用	10,869	3,670	14,539
<b>経常増減額</b>	<b>518</b>	<b>69</b>	<b>587</b>
経常外増減額	△ 80	0	△ 80
<b>他会計振替前当期一般正味財産増減額</b>	<b>438</b>	<b>69</b>	<b>507</b>
他会計振替額	35	△ 35	-
法人税、住民税及び事業税	-	0	0
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>472</b>	<b>35</b>	<b>507</b>
当期指定正味財産増減額	△ 32	△ 1	△ 33
<b>正味財産増減額</b>	<b>440</b>	<b>34</b>	<b>474</b>

<貸借対照表>

(単位：百万円)

2023年3月31日現在			
科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	<b>7,145</b>	流動負債	1,303
現金・預金	4,584	固定負債	816
医業未収金	2,400	<b>負債合計</b>	<b>2,119</b>
その他	161	(財産の部)	
<b>固定資産</b>	<b>5,518</b>	一般正味財産	10,169
基本財産	300	(当期増加額)	(507)
特定資産	1,641	指定正味財産	375
有形固定資産	3,319	(当期増加額)	(△34)
その他	258	<b>正味財産合計</b>	<b>10,544</b>
<b>合計</b>	<b>12,663</b>	<b>合計</b>	<b>12,663</b>

### 3 受取寄付金明細

2022年度は、次の方から寄付金をいただきました。

氏名等	寄付金額(円)	受領年月日	指定の有無	用途
個人(延べ41名)	3,728,000	2022. 4. 1 ~2023. 3.28	なし	
個人(1名)	30,000	2023. 2.24	あり	佐倉厚生園病院の運営費に充当

# Ⅲ 福利厚生

当会では、福利厚生施策の一環として、東急ハーヴェストクラブの会員権を取得し、職員およびその家族の健康増進や余暇生活の充実を図っている。

東急ハーヴェストクラブは、全国のリゾートホテル(準相互利用を含む)施設やゴルフ場を低価格にて利用可能とする会員制クラブである。うち、当会が会員権を取得

しているホームグラウンドは、那須・勝浦・箱根甲子園・熱海伊豆山・伊東・旧軽井沢・旧軽井沢アネックスの計7施設である。

このホームグラウンド施設以外のことを相互利用施設といい、会員権を持たないこれらの施設でも部屋が空いていれば、宿泊利用が可能である。

## 2022年度東急ハーヴェストクラブ利用状況

ホームグラウンド								
那須	勝浦	箱根甲子園	熱海伊豆山	伊東	旧軽井沢	旧軽井沢アネックス	小計	
14	7	11	14	4	8	4	62	
相互施設								
裏磐梯 グランデコ	那須Retreat	鬼怒川	VIALA 鬼怒川溪翠	箱根明神平	VIALA 箱根翡翠	VIALAannex 熱海伊豆山	天城高原	小計
0	1	1	0	1	1	1	2	27
浜名湖	静波海岸	山中湖 マウント富士	斑尾	軽井沢	VIALAannex 軽井沢	蓼科	蓼科アネックス	
3	1	4	1	1	0	0	0	
蓼科リゾート	スキージャンプ 勝山	南紀田辺	京都鷹峯	VIALAannex 京都鷹峯	京都東山 IYHE HOTEL HIGASHIYAMA	有馬六彩	VIALAannex 有馬六彩	
1	1	0	5	3	0	0	0	
			都リゾート 志摩ベイサイドテラス	プレジデント リゾートホテル 軽井沢	プリンス パケーションクラブ ヴィラ軽井沢浅間	プリンス パケーションクラブ 軽井沢浅間	プリンス パケーションクラブ 三養荘	
			0	0	0	0	0	
							合計	89

事務局

医学研究所

玉川病院

玉川クリニック

佐倉厚生園病院

佐倉ホワイエ

日産厚生会診療所